



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月22日

上場会社名 株式会社トーメンデバイス 上場取引所 東
 コード番号 2737 URL <https://www.tomendevices.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 妻木 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 原 英記 TEL 03-3536-9150
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	67,116	19.5	1,077	9.0	1,059	14.2	796	17.6
2020年3月期第1四半期	56,146	15.1	988	△21.4	927	△6.3	677	22.7

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 859百万円 (58.9%) 2020年3月期第1四半期 541百万円 (△14.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	117.10	95.57
2020年3月期第1四半期	99.59	90.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	107,322	31,756	29.3	4,627.36
2020年3月期	92,510	31,917	34.2	4,653.66

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 31,472百万円 2020年3月期 31,651百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	150.00	150.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	0.00	—	120.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	245,000	△5.9	2,900	△35.9	2,800	△36.0	2,100	△37.9	308.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 6 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご参照下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	6,802,000株	2020年3月期	6,802,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	696株	2020年3月期	666株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	6,801,332株	2020年3月期1Q	6,801,389株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
3. 補足情報	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の発令を受けた休業要請や外出自粛の強まりを背景に、個人消費が落ち込むほか、世界的な需要減少を受け、輸出も大幅に下振れたことから、企業の設備投資にも慎重な姿勢がみられています。また、世界経済においては、新型コロナウイルス感染症が早期に収束することは難しく、新型コロナ後の新しい経済モデルの模索が継続しております。

エレクトロニクス業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による最終需要の影響は依然として先行き不透明なものの、先行して回復した中国の生産水準に加えて、徐々に他の地域でも生産活動が正常化しており、在庫水準の適正化も進み始めていることから、コロナ対策に伴うリモートワークを支えるインフラやデバイス需要が今後の売上成長を牽引すると期待されております。

このような状況下、当社グループは、前期末の新型コロナウイルス感染症の影響を懸念した顧客からの部品確保の為の受注前倒しは一巡しているものの、データセンターストレージ向けおよびPC向けにDRAM、NAND FLASH製品の売上が堅調であったこと、海外市場においてはスマートフォンの販売台数は減少している状況ですが、スマートフォン向けMCP（DRAMとNAND FLASH製品を1つのパッケージにしたもの）のシェア拡大による売上が伸びたこと、引き続き高精度カメラCIS（CMOSイメージセンサー）の売上が拡大したことから、売上高は671億16百万円（前年同期比19.5%増）となりました。また、営業利益は10億77百万円（同9.0%増）、経常利益は10億59百万円（同14.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億96百万円（同17.6%増）となりました。

なお、品目別の実績については、6ページの「3. 補足情報（品目別販売実績）」をご参照ください。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産の残高は1,073億22百万円（前連結会計年度末比16.0%増）となりました。これは主に商品が増加したことによるものです。

負債の残高は755億65百万円（同24.7%増）となりました。これは主に短期借入金および未払金が増加したことによるものです。

純資産の残高は317億56百万円（同0.5%減）となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金の支払によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年5月22日に発表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,594	3,263
受取手形及び売掛金	50,567	56,613
電子記録債権	3,765	3,264
商品	22,941	36,852
前渡金	3,012	604
預け金	3,309	4,410
その他	912	820
流動資産合計	91,104	105,829
固定資産		
有形固定資産	72	62
無形固定資産	199	184
投資その他の資産	1,133	1,246
固定資産合計	1,406	1,493
資産合計	92,510	107,322
負債の部		
流動負債		
買掛金	37,059	39,160
短期借入金	—	8,046
未払法人税等	509	554
前受金	9,246	7,578
賞与引当金	187	64
未払金	12,028	19,410
その他	1,092	274
流動負債合計	60,123	75,090
固定負債		
退職給付に係る負債	429	435
繰延税金負債	0	0
その他	38	39
固定負債合計	469	475
負債合計	60,593	75,565
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,054	2,054
資本剰余金	1,984	1,984
利益剰余金	27,169	26,945
自己株式	△1	△1
株主資本合計	31,205	30,982
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	136	236
繰延ヘッジ損益	△21	△10
為替換算調整勘定	330	264
その他の包括利益累計額合計	445	490
非支配株主持分	266	284
純資産合計	31,917	31,756
負債純資産合計	92,510	107,322

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
売上高	56,146	67,116
売上原価	54,454	65,402
売上総利益	1,691	1,713
販売費及び一般管理費	703	636
営業利益	988	1,077
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	7	8
持分法による投資利益	31	24
その他	2	5
営業外収益合計	46	42
営業外費用		
支払利息	45	3
債権売却損	4	1
為替差損	50	49
その他	6	7
営業外費用合計	106	60
経常利益	927	1,059
税金等調整前四半期純利益	927	1,059
法人税等	240	241
四半期純利益	686	817
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	21
親会社株主に帰属する四半期純利益	677	796

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
四半期純利益	686	817
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△62	99
繰延ヘッジ損益	53	11
為替換算調整勘定	△136	△68
その他の包括利益合計	△145	42
四半期包括利益	541	859
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	537	841
非支配株主に係る四半期包括利益	4	18

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 補足情報

(品目別販売実績)

品目別	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)		増減率 (%)	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		金額 (百万円)	構成比 (%)
メモリー	28,784	51.3	42,876	63.9	49.0	151,349	58.1
システムLSI	16,222	28.9	16,670	24.8	2.8	75,697	29.1
半導体小計	45,006	80.2	59,546	88.7	32.3	227,046	87.2
液晶デバイス	6,198	11.0	2,996	4.5	△51.7	19,105	7.3
その他	4,942	8.8	4,574	6.8	△7.4	14,216	5.5
合計	56,146	100.0	67,116	100.0	19.5	260,367	100.0

(メモリー半導体)

前期末の新型コロナウイルス感染症の影響を懸念した顧客からの部品確保の為の受注前倒しは一巡しているものの、データセンターストレージ向けおよびPC向けにDRAM、NAND FLASH製品の売上が堅調であったこと、また、中国においてスマートフォン向けMCPの売上が伸びたことから、この分野の売上高は428億76百万円（前年同期比49.0%増）となりました。

(システムLSI)

国内市場において、ファウンドリービジネスが堅調であったこと、中国市場においては、スマートフォンの複眼化および高精細化により、高画素CISの売上が拡大していることから、この分野の売上高は166億70百万円（同2.8%増）となりました。

(液晶デバイス)

国内・海外市場共に主にテレビ向け液晶パネルの売上が大幅に減少したことから、この分野の売上高は29億96百万円（同51.7%減）となりました。

(その他)

国内市場では有機ELパネルがスマートフォンの新モデルに採用され販売を伸ばしましたが、工作機等向けのバッテリー等の売上が減少したことから、この分野の売上高は45億74百万円（同7.4%減）となりました。

(ご参考)

「メモリー」に含まれる主な商品は以下のとおりです。

DRAM、NAND FLASH、MCP（マルチチップ・パッケージ）、SSD（ソリッドステートドライブ）等

「システムLSI」に含まれる主な商品は以下のとおりです。

SoC（システム・オン・チップ）、DDI（ディスプレイドライバーIC）、CIS（CMOSイメージセンサー）等

「液晶デバイス」に含まれる主な商品は以下のとおりです。

LCD（液晶パネル）等

「その他」に含まれる主な商品は以下のとおりです。

LED、有機EL、MLCC（積層セラミックコンデンサ）、バッテリー等